



エコパートナーシップうじたわら

うじたわらの木くん

～茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまら～

発行日：令和元年10月27日（第78号）

編集・発行：エコパートナーシップうじたわら広報部会

事務局 TEL（88）6639 FAX（88）3231

ふるさと自然体験ハイキング

宇治田原の自然と文化～

立川地区から御林山へ

令和元年11月17日（日）

午前9時～午後3時（予定）

総合文化センター～御林山（7km程度）
（立川糠塚、大道寺、平岡地区等）

集合：宇治田原町総合文化センター

定員：40名 町内外どちらからも参加可能（参加料は無料、
小学生以下は保護者同伴）

参加ご希望の方は下記までお申込みください

エコパートナー事務局（役場建設環境課）

TEL:0774-88-6639（平日） FAX:0774-88-3231（役場代表）

※電話でのお問い合わせ、お申し込みは土日祝日除く8:30～17:15

※締切は11月15日（金）締切日または定員に達し次第締め切り

※昼食等必要なものはご持参ください。

※雨天等により中止する場合は参加者に連絡いたします。

※都合により当日参加できなくなった場合は、役場もしくは総合文化センター（0774-88-5851）へご連絡ください

※この事業は教育委員会の環境学習との共催です。



「エコクッキング」に参加した話

エコパートナーシップでは年に2回ほどエコクッキングを開催している。スイカの白い部分など、普通は捨てられてしまうようなものも有効活用し、食品廃棄物の削減をはかりつつ、栄養のある部分を逃さず使用することで健康増進にも役立つ。地球にも体にも優しい一石二鳥のイベントなので、多くの方に参加してもらいたいと願っている。

このイベントに2人の孫が毎回参加しているのだが、兄弟でまったく反応が違う。

7月に実施したクッキングには2人のうちエコクッキングには全く興味を示さない弟だけが参加した。エプロンをつけるなど格好は一人前だが、予想通り料理や試食には参加しようとしなかった。

担当「君の好きな食べ物は？」

孫2「カレー」

担当「今日作った料理はどうするの？」

孫2「お兄ちゃん(孫1)のお土産にする」

担当「じゃあ、なんでエコクッキングに来たの？」

孫2「おかあちゃんに(参加するよう)言われたから」

担当者との会話もこんな調子である。

前回のエコクッキングではこんなこともあった。玉ねぎの皮を煎じて飲むと、血糖値低下に効果があるのではと聞いたエコクッキング大好き長男(孫1)が、さっそくやかんにいっぱい玉ねぎの皮を煎じてくれた。涙腺がゆるんだのは玉ねぎのせいだけではない。うれしくなって一気に飲み干した。ところがその後まったく血糖値が上がらなくなり、低血糖を心配した娘に病院に送ってもらったら、たまたま血糖値測定器が壊れていたという、作り話のようなオチがついていた。

「芦原さん、今夜カレー食べに来ませんか？」

鳴り響く友人からの携帯電話。

カレー？どっかで聞いたような？

12月にまたエコクッキングを開催予定です。次号でお知らせするのでみなさんのご参加をお待ちしています。

(芦原昇)

今年もふるさとまつりに出展します

今年も宇治田原町住民体育館で開催される「ふるさとまつり」に出展し、省エネ診断、いきもの相談、町内の自然環境のパネル展示などを行います。

今年も同日に住民グラウンドで商工祭が開催されます。

令和元年11月3日(日)
午前10時～午後2時30分
宇治田原町住民体育館にて



昨年のような(今年は住民体育館内になります)

エコパートナーシップうじたわらでは、いっしょに活動する会員を募集しています。

肩ひじ張らず、気軽に、自分のできる範囲で参加するのがエコパートナーの特徴です。関心のある方は役員や会員、事務局までお気軽にお申し出ください。

お問い合わせ先：エコパートナーシップうじたわら事務局 (宇治田原町建設事業部建設環境課内)

〒610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出 10

TEL 0774-88-6639 FAX 0774-88-3231 Eメール: junkan@town.ujitawara.lg.jp

会報のバックナンバーをご覧ください

宇治田原町役場ホームページ「トップ」⇒「環境衛生」⇒「エコパートナーシップうじたわら」

エコパートナーシップうじたわら facebook ページ公開中



茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原